

第 56 回建築士会全国大会 しまね大会紹介

4) 民家 2 出雲の民家

江戸時代の松江藩は雲藩とも
言いました。雲州出雲という言
い方もあります。東は安来から
西は出雲までが松江藩域です。
ということは、文化的には松江
も出雲も大差はないというこ
とになります。松江の特徴である
逆勝手の瓦は出雲も同様です。
むしろ出雲の方が大津瓦組合の
本場です。ただ、簸川地方の築
地松に囲まれた茅葺民家には独
特の形があります。簸川地方は
元は山や湖だった所が堆積し、
あるいは埋立てられてできた
吹きさらしの平地です。北西の
風が強く、また塩を含んでいる
ため、屋敷を囲むように松を植
えています。松は棟よりも高く
なり、全く松に隠れてしまう
きもあります。そしてその棟は
両端が大きく反り上っています。
反りあげることによって出
来る妻壁は煙抜きになります。
なぜか簸川の平地にのみこれ
だけ大きい棟反りを持った茅
葺民家が密集しています。瓦葺
の民家で大きいものは昔は庄
屋だったとか、いわゆる地方の
有力者の屋敷です。農村部の赤
瓦に対し、町部は黒瓦になりま
す。松江藩の方針だったよう
です。瓦の勾配は4.5寸以上です。
棟は来待石(きまちいし)。



簸川の築地松と棟反り農家



川を渡って行く農家棟は平坦(佐田)



江角豪農屋敷



江角家の出雲庭園



大村家(大社の商家)



山田家(出雲大津)



山本家(出雲知井宮)



石田家(出雲大津)



千家国造家の門(大社)



日御碕の農家